

出演者プロフィール

C . W . ニコル

C h a r a

岡野弘幹 with 天空オーケストラ・セレクトメンバー

アーサー・ハル

佐々木薫

C . W . ニコル

生年月日：1940年7月17日生。

略歴

英国ウェールズ生まれ。17歳でカナダへ渡り、その後、カナダ水産調査局北極生物研究所の技官として、海洋哺乳類の調査研究にあたる。

1967年～：

2年間、エチオピア帝国政府野生動物保護省の猟区主任管理官に就任。シミエン山岳国立公園を創設し公園長を務める。

1972年～：

カナダ水産調査局淡水研究所の主任技官、また環境保護局の環境問題緊急対策官として、石油、化学薬品の流出事故などの処理にあたる。

1980年：長野県黒姫に居を定め、以降、執筆活動をしている。

1995年7月：日本国籍を取得。

2001年：

自ら荒れた森を購入し、生態系の復活を試みる作業を16年間行いNPO「アフアの森 基金」を設立した。

2002年：財団法人 C . W . ニコル・アフアの森財団を設立、理事長を務める。

著書、等

『テキシー』角川書店

『勇 魚』文藝春秋社

『風を見た少年』講談社

『TREE』徳間書店

『FOREST』徳間書店

『北極カラスの物語』講談社

『魔女の森』講談社

『盟 約』文藝春秋

『遭敵海域』文藝春秋

『裸のダルシン』小学館 = 2002 年児童福祉文化財の推薦を受ける。
他、多数。

1993 年～国際松濤館空手道連盟顧問

1993 年～(財)屋久島環境文化財団特別顧問

1994 年：内閣官房「21 世紀地球環境懇談会」委員

1995 年～学校法人東京環境工科学園理事・実習場長

1997 年：内閣官房「子どもの未来と世界について考える懇談会」委員

2002 年：内閣府「未来生活懇談会」委員

2003 年～東京都 エコツーリズム・サポート会議委員

2003 年～環境省 エコツーリズム推進会議委員

ニコルバンド

ニコルバンドは『作家CWニコル』そして『音楽家CWニコル』を敬愛するミュージシャンの集団です。

メンバーは、ニコルさんの作家仲間であり音楽家の『平野肇』、作・編曲家・ギタリストの『平野融』、作・編曲家・音楽プロデューサーでありバイオリン・キーボード奏者の『都留教博』、アイリッシュ・フルート、ティンホイッスルの第一人者『安井マリ』の4人。温かなアコースティック・サウンドでニコルさんの歌をバックアップします。

Chara

1991年デビューアルバム「Sweet」発売。キュートな存在感とオリジナリティ溢れる楽曲で人気を得て、1995年岩井俊二監督「PICNIC」映画初出演、1996年映画、同監督作品「スワロウテイル」に出演。ボーカルとして参加したYEN TOWN BANDが大ヒット。その後、自身のアルバム「Junior Sweet」がミリオンセールスを記録。新たな女性アーティスト像を確立し、幅広い層からの支持を得ている。2004年2月にセルフカバーアルバム「A Scenery Like Me」を最後に、EPICレコードジャパンとの契約を終了。

オフィシャルホームページ <http://www.charaweb.net/>

岡野弘幹 with 天空オーケストラ・セレクトメンバー

日本のアンビエント、トライバルシーンにおける先駆的存在である岡野弘幹を中心に、1995年、強力な個性を持ったメンバーが集まり結成された“天空オーケストラ”。愛・地球博アースデイでは、セレクトメンバーで出演。世界中の民族楽器を駆使し紡ぎだされるサウンドは、既存のワールドミュージックやエスニックの枠に収まらず、独自のトライバルロックというジャンルを確立。海外公演も数多く、高い評価を得ている。

アーサー・ハル

30年以上に渡りリズムによるエンパワーメントに携わり、世界的な「ドラムサークル運動の父」と呼ばれる。カリフォルニア大学サンタ・クルズ校で教鞭をとるかたわら、Seattle World Rhythm Festival、PASIC、Bumbershoot Festival、NAAM等のフェスティバルや国際会議で大規模なドラムサークルをファシリテート、各種学会や政府機関、企業等でのドラムサークルを行ない、世界各地でファシリテーター養成事業に携わる。著書にドラムサークルのバイブル『ドラムサークル・スピリット』(ATN刊)、ビデオ『Drum Circle Facilitation』『Guide to Endrummingment』等。ドラムサークルには、スティービー・ワンダーも参加している。パーカッショニストとしては、ミッキー・ハート(グレイトフル・デッド)、ババトウンデ・オラトウンジなど数多くのアーティストのレコーディング、コンサートに参加。

佐々木薫

ドラムサークル・ファシリテーター、DRUMAGIK/ドラムサークル研究会代表。アーサー・ハルのVMCドラムサークル研修アドバンスコース日本人唯一の修了者。米ドラムサークル・ファシリテーター協会(DCFG)プロフェッショナル会員、日本音楽療法学会会員。訳書・監修書に『ドラム・マジック』(グレイトフル・デッドのミッキー・ハート著、工作舎)、『ドラミング～リズムで癒す心とからだ』(ロバート・L・フリードマン著、音楽之友社)、『ドラムサークル・スピリット』(アーサー・ハル著、ATN)等。アーサー・ハル式ドラムサークル実施・研究・養成団体を主催し、これまでにのべ約1万人を対象にドラムサークルを実施。